

# たぐすい

TAKUSUI  
No. 676

兵庫の漁業人のための情報誌

2

February, 2013

発行 (財)兵庫県水産振興基金



「福は内、福は内」節分豆まき式 (岡山県・最上稲荷)

**燃油高騰へ抜本的な対策を要請**

**第16回 山田記念賞 表彰式・祝賀会 開催**

**第37回 淡路のり品評会 開催!!**

# ようこそ

「ずっと真っ直ぐに」

（ようこそとは航海用語で「宜しく候の意。主に船を直進させるとききの号令として使われる」）

## 《新しい家族》

兵庫県漁業共済組合 専務理事 石原 満



我が家に新しい家族が増えた。

この12月10日にペットショップでワンちゃんを購入したからだが、まだ子犬で小さいことから愛らしく日々心和まされ癒されている。

犬種はトイプードルで10月6日が誕生日の雌である。

ココと名づけた。

ただ、ネットで調べてみたら雌犬の名前のベストテンに入っていてかなりありふれた名前となっていたが、まあいいやであった。

すでに、我が家にはキャバリアで12歳になるこれも雌犬の名前をクッキーという先住のワンちゃんがいる。

にもかかわらず、もう1匹飼いたい、また犬種がトイプードルとなったのは、家内と娘がこちらでよく見かけトイプードルを飼いたいといい始めたからである。

先住のクッキーとの相性も考え大人しそうな性格の犬を探していたが、たまたま条件に合ったと思われたココを見つけ、即購入の運びとなった訳である。

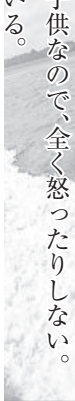
連れて帰った初日は見知らぬ顔や場所であったことから不安そうにじっとしていたが、二日目にはもう慣れて、檻になった犬小屋から出すと一気に部屋中を走り回り、一丁前にウーとうなり声を上げてじゃれ付いて飛び掛ってくる。

おとなしい性格だと思っていたのが正反対のやんちゃ娘であった。

犬小屋に帰すといかにも悲しげにキューンキューンと鳴き、小屋から出すとウーワンワンのギャップが激しい。

遊び疲れると膝の上に乗ってきて体をすりすりとしすり付けてきてまったりしながら眠り始めると言った次第である。

クッキーは多少迷惑そうであるがさすがに相手の子供なので、全く怒ったりしない。なんとかうまくやっていけそうなのでほっとしている。



## CONTENTS

No.676 February, 2013

- 2 ようこそ
- 3 燃油高騰へ抜本的な対策を要請
- 4 第16回「山田記念賞」表彰式・祝賀会開催
- 5 淡路農林水産祭開催  
（社）播磨漁友会臨時総会
- 6 第37回 淡路のり品評会 開催
- 7 シートクラブの取組み  
「魚とトマトを使ったプレミアム料理教室」  
カキ生産者の料理教室
- 8 豊かな海へ……  
淡路西浦ため池かいぼり作業  
“兵庫のり”について学ぼう！
- 9 “命を守る運動”「海上安全講習会」を開催しました  
海技大学校とJF津名
- 10 豊かで美しい瀬戸内海の今後の在り方について意見交換
- 11 JF五色町が協力し電気漁船の実証実験  
平成25年度 兵庫県漁村子弟育苗英生募集
- 12 瀬戸内海フォトコンテスト作品募集  
大輪田塾だより
- 13 兵庫JCC通信
- 14 旬に想う  
税務署からのお知らせ



### 表紙の言葉

## 「福は内、福は内」節分豆まき式

岡山市にある日本三大稲荷の1つ「最上稲荷」の節分豆まき式が2月3日に行われ、日曜日とあって約4万5千人の参詣者がありました。こちらではご本尊である最上尊の大慈悲心をもって悪鬼でも善心に立ち返らせるということから「鬼は外」とは言わず、「福は内、福は内」と言い、開運厄除け祈祷を受けた福男福女ら総勢約750人が5回にわたり、10万袋（約2トン）の福豆をまきました。

新しい季節の到来に“福”を呼び込む……。

今年の春も沢山の福が訪れる、そんな春であってほしいものです。

### 燃油高騰へ抜本的な対策を要請

#### ～JF兵庫漁連 山田 隆義会長が

#### 自民党水産部会・水産政策協議会合同会議で～

#### JF兵庫漁連

自民党水産部会(末松 信介部会長)・水産政策協議会が1月7日(月)自民党本部で開催され、末松部会長はじめ多数の国会議員および、政府から林 芳正農水大臣、江藤 拓農水副大臣、長島 忠美農水大臣政務官らが出席するなか、JF兵庫漁連 山田 隆義会長は現場の声として、浜のニーズにあった燃油高騰対策を要望しました。

衆議院選挙後初となったこの会議で、水産庁等から平成24年度補正予算・平成25年度予算要求の内容が説明されました。それに対し、兵庫県選出の議員から「燃油価格が高騰する中、セーフティネット事業における計算方法では発動条件が厳しく、漁業者の負担が大きい。米が食料安全保障の観点から保護されているのと同様に、漁業にも国が施策を講じるべき。漁業用燃油は末端価格で@60円/㍓が損益分岐点であり、これを超える部分は国が手当すべき」としたうえで、臨席する山田会長に現場の声として意見を求められました。これを受けて山田会長は「漁業者の目線で見ると、今までの燃油高騰対策に関するさまざまな施策は、漁業者が自立するところへ至って

いない。原油価格が高止まりし、10年前より燃油価格は2.5倍と暴騰している状況では、代船、エンジンの積替えは不可能であり、漁家経営は継続できない。」とし「漁業者が自立できる油代は@60円/㍓と考えている。水産業は関連産業も多く、産業振興の意味でも、優先して燃油高騰対策に注力して欲しい。」と発言しました。

このあと、鹿児島県選出の議員から「同ネット事業は国庫10/10であり画期的な事業と評価するが、予算的に高騰分を賄えるのか」と質問があり、水産庁担当者は「同ネット事業を措置以降、2年以上高止まりすれば発動できないなどすき間が生じていた。今年から7中5(※)×100%発動と補正予算を下げた。通常予算35億と補正予算39億で、このまま燃油が高騰しても予算的には対応可能である」と回答し、続いて副大臣から「水産の補助事業が通常5中3のところ、7中5×100%で発動とするのはサトウキビと燃油ぐらいであり、農水省的にも優れた事業と自負している。しかし、漁業者の70%しか加入していない実態であり、これでは完全とは言えない。政

権交代後、補正予算編成まで短期間であったため、まずは現事業を活かし、異常高騰の際は別途対応を検討したい」と付け加えられました。

また、長崎県選出の議員からは「同ネットの仕組みが良いが、発動ラインが、浜の@60円/㍓の要望に対し、基準は@90円/㍓で乖離している。@60円/㍓でなければ採算があわない中で、@90円/㍓で5千～6千円もらっても漁業者は有難くない。水産庁は補てん金を問題視しているが、漁業者は発動基準との差に問題があるといっている。このほか、今の所得補償は、前年の水揚げを超えると言えないなか、業界団体からは、資源管理・漁業所得補償(漁業経営安定)対策を止めて、予算を燃油対策に充たすべきとの声もある。」との発言がありました。

JF全漁連は「山田会長からも申し上げたように、漁業者からすれば10年前に比べ、油代が2倍以上になっている中で経営を維持できる油代はギリギリで@60円/㍓。水産庁の説明にあったように、現在の同ネット基準価格の@57円/㍓に中間コストを入れると末端価格は@概ね87円/㍓、同ネットの発動が@80円/㍓を超える中で現実的な@60円/㍓との差を先生方に考えていただきたい。今後は漁船漁業を油で支えていただき、養殖漁業についても確かな施策をお願いしたい。」とされました。

最後に、末松部会長が「以前より山田会長から@60円/㍓の話をいただいていることから、夏の参議院選挙までに水産基本政策小委員会を中心に議論を行い、水産部会として意見を取りまとめたい」と総括して閉会しました。

※7中5：過去7年の内、上下端を除く5年のこと。

#### ○出席議員(敬称略・順不同)

林 芳正(参・山口：農水大臣)、江藤 拓(衆・宮崎：農水副大臣)、長島 忠美(衆・新潟：農水政務官)、末松 信介(参・兵庫：部会長)、大島 理森(衆・青森)、浜田 靖一(衆・千葉)、山本 公一(衆・愛媛)、青木 一彦(参・島根)、山本 順三(参・愛媛)、望月 義夫(衆・静岡)、金子原二郎(参・長崎)、武部 新(衆・北海道)、木村 太郎(衆・青森)、吉野 正芳(衆・福島)、伊藤信太郎(衆・宮城)、津島 淳(衆・青森)、野村 哲郎(参・鹿児島)、宮腰 光寛(衆・富山)、瀬戸 隆(衆・香川)、関 芳弘(衆・兵庫)、中谷 元(衆・高知)、林田 彪(衆・熊本)、竹下 亘(衆・島根)、富岡 勉(衆・長崎)、北村 誠吾(衆・長崎)、西川 公也(衆・栃木) 26名

## 第16回「山田記念賞」

### 表彰式・祝賀会 開催

～本県水産業の発展に貢献された3名と  
全国で高く評価を受けた2団体が受賞～

(財)兵庫県水産振興基金

「山田記念賞」は、永年にわたり大きな夢と希望を抱いて本県水産業の発展に尽くされた故山田岸松氏を偲び、その功績を記念するため平成3年に創設されたもので、水産業の経営、技術に優れ、多年にわたり本県水産業の振興に貢献し、その功績が著名な方に贈られる賞です。

当基金主催による本年度の同賞表彰式および祝賀会は、2月6日(水)神戸市内のホテルで県・漁協等の関係者ら約80名が集まり開催されました。なお、この会は本年10月1日付で一般財団法人への移行を決めている当基金にとって、現制度のもと、最後の記念式典となりました。

本年度受賞者は、桂 團治様(JF坊勢)、西野 幸信様(JF南淡)、中村 勲様(JF浜坂町)の3名と、ガザミふやそう会、神戸市漁業協同組合女性部の2団体で、

当基金 井戸 敏三理事長(兵庫県知事)が受賞者・団体へそれぞれ「天与」と命名された「男女漁業者立像」レリーフを贈呈しました。井戸理事長は「受賞された皆様には、それぞれの地域、分野で今後ともさらにご活躍されることを期待します。」と挨拶し、あわせて「寒風に 負けずに業う漁人の 未来へつなぐ 志高し」の歌を贈られました。その後、系統団体を代表してJF兵庫漁連 山田隆義会長が来賓祝辞を述べられ、桂様から受賞者を代表して謝辞がありました。

このあと、吉岡 修一理事(JF但馬)の開宴挨拶に始まった祝賀会では、参会者一同、受賞者の栄誉をお祝いし、終始華やかな雰囲気になりました。JF兵庫信漁連 山田 峰人会長の中締め挨拶と、これからの水産業の発展を期して、同信漁連 水橋 寛子さんのリードで力強く「がんばろう」と唱和し閉会しました。



井戸理事長からレリーフを受け取った受賞者の皆様



水産業界の今後に「がんばろう」の決意を込めて…



【山田記念賞受賞者】(左から)桂様、西野様、中村様、井戸理事長、山田会長、神戸市漁業協同組合女性部、ガザミふやそう会



# 淡路農林水産祭開催

## 武田政和組合長（JF由良町）が兵庫県自治賞受賞

### 洲本農林水産振興事務所

1月15日（火）、淡路島の農林水産業の振興を目的とした淡路農林水産祭が淡路市多賀の伊弉諾神宮にて開催されました。第50回となる今年は、平日にもかかわらず約1万8千人の人の出で賑わいました。

式典では、今年一年の豊作と豊漁を祈願する「農林水産物豊穰豊漁祈願祭」が系統団体や行政機関の代表者等が参列するなか執り行われました。続いて兵庫県自治賞等の表彰があり、地域漁業の秩序維持や由良町中央漁協と由良漁協の合併に尽力された武田政和氏（JF由良町組合長）に兵庫県自治賞を授与されたほか、農林水産功労者として、組合運営や地域の漁業振



兵庫県自治賞を受賞した武田組合長

興に貢献された西條和明氏（JF富島）、底曳網漁業の資源管理や漁業者活動の活性化に力を注がれた相田恵三郎氏（JF仮屋）の2氏が表彰されました。



パネルを使った展示もありました。

また、農林水産物等コンクールでは、水産加工品（のり）の部で和四郎水産が金賞（知事賞）、利平水産が金賞（議長賞）、由仲水産、大草水産が銀賞、そして栄住水産、真留水産、大橋水産、柳川水産、三共水産が銅賞をそれぞれ授与されました。

また、会場では島内各地で生産された農林水産物の販売・展示が行われ、水産関係では（社）淡路水交会とJF兵庫漁連がチリメン、ノリなどの水産物・加工品を販売しました。毎年恒例の淡路地区農漁村女性組織連絡会による淡路の伝統料理「ちよぼ汁」も振るまわれ人気を集めました。

## （社）播磨漁友会臨時総会 新法人移行に向けて準備進む 補正予算など3議案を承認



（社）播磨漁友会（井上仁会長…JF岩見）の平成24年度臨時総会が1月21日（月）、姫路市内のホテルであり、会員JFの組合長や県、系統団体の代表者ら約50名が出席しました。総会の冒頭、井上会長が「合併で会員が減少しているが諸事多難な時代こそ結束が必要」と挨拶されたあと、兵庫県農林水産局 藤澤崇夫水産課長、JF兵庫漁連 山田隆義会長が来賓を代表して祝辞を述べられました。このあと、JF播磨町 藤原正照組合長を議長に平成24年度補正予算、平成25年度事業計画・収支予算などが審議され、何れも原案通り可決承認されました。なお、新年度予算は一般社団法人への移行をふまえ、従来より小項目化した構成になっています。

## 第37回 淡路のり品評会 開催 優秀品24点が選ばれました

(社)淡路水交会



審査の様子

(社)淡路水交会 (前田 吉計会長) 主催による淡路のり品評会は、生産者の意識の向上と生産技術の研鑽を図る目的で毎年開催されており、今回も12月上旬から1月上旬までに、島内で生産された乾のりについて審査が行われました。

今年で37回目となるこの品評会は、2月1日(金) 洲本市の淡路水産センターで開催され、系統団体、県洲本農林水産振興事務所の関係者ら10名の審査員が、応募89点の中から第一次審査で選ばれた50点を対象に審査を行いました。今年も良い出来栄えののりが出揃い、審査員からは「甲乙付けがたい」といった声が聞かれました。

審査の結果、優秀品24点が選ばれ、最上位の兵庫県知事賞は新平水産 (JF仮屋) が受賞しました。(別表参照)

なお、今回も出品されたのりはすべて味付け加工して、福祉施設等に無料配布することになっています。

第37回 淡路のり品評会審査結果表

(敬称略)

賞の区分	漁協名	経営体名	代表者名	賞の区分	漁協名	経営体名	代表者名	
兵庫県知事賞	仮屋	新平水産	相田和民	兵庫県漁業共済組合長賞	一宮町尾崎	上田水産	上田真助	
兵庫県議会議長賞	一宮町江井	因水産	大塚智数		一宮町江井	因水産	魚 誠司	
兵庫県淡路県民局長賞	森	真留水産	森 正之		森	音蔵水産	森 祐三	
兵庫県漁業協同組合連合会長賞	森	丸竹水産	畠田国男	共水連兵庫県事務所長賞	一宮町尾崎	吉田水産	吉田良明	
兵庫県立農林水産技術総合センター所長賞	育波浦	桑名水産	桑名幸充		室津浦	幸洋水産	南 浩功	
兵庫県淡路県民局洲本農林水産振興事務所長賞	一宮町江井	大清水産	大塚晴生		一宮町郡家	備水産	石上和利	
島内市長賞	洲本市長賞	五色町	五色水産	松下幸夫	兵庫県内海漁船保険組合長賞	一宮町郡家	伊藤水産	伊藤清文
	淡路市長賞	仮屋	岡田水産	岡田光司		一宮町郡家	実平水産	石上昌利
	南あわじ市長賞	湊	三共水産	山形和三郎		五色町	大橋水産	大橋盛夫
兵庫県信用漁業協同組合連合会長賞	森	安啓水産	畠田安啓	社団法人 淡路水交会長賞	炬口	ちくば水産	竹岡千尋	
	森	源吉水産	岡田桂昌		一宮町郡家	マル石水産	石上敏広	
	一宮町郡家	寿水産	松本秀樹		南淡	北西水産	北本 勉	

# シートクラブの取組み

JF兵庫漁連広報部

## 「魚とトマトを使ったプレミアム料理教室」開催 〜兵庫の魚とカゴメのトマト商品を使って〜

JF兵庫漁連とカゴメ(株)は共同で、昨年来、兵庫県の水産物にあうカゴメ商品を使った料理の提案を行っており、料理教室のほか大手量販店におけるキャンペーン活動なども展開しています。

1月23日(水)には、スーパーマーケットでカゴメ商品を購入し応募のあった中から抽選で選ばれた方(8組16名)を対象に料理教室が開催されました。教室では、JF兵庫漁連が魚介類の捌き方を、カゴメ(株)が料理法を担当し、カワハギとイイダコを使って「おぼれダコ(タコのトマト煮)の Pasta」と、カワハギのズッパテイペツシユ、トマトのムースの3品を調理しました。まず、同漁連 隅谷 翠主任がカワハギの皮の剥き方とイイダコのスミ抜きについて説明し、まだ動いているイイダコのスミを抜く際には、皆さんは熱心に講師の手元を見ていました。調理はカゴメ(株) 杉本 優子講師が担当し、同社の商品を使った簡単で、しかも味、見た目が良い料理の調理法と注意点が話され、参加者は熱心にメモを取っていました。実習では、皆さんはイイダコのスミ抜きで苦戦していましたが、調理は手馴れた様子で



隅谷講師の技に注目が集まっていた様子



隅谷講師の技に注目が集まっていた様子



参加者の皆さんは手際よく作られました

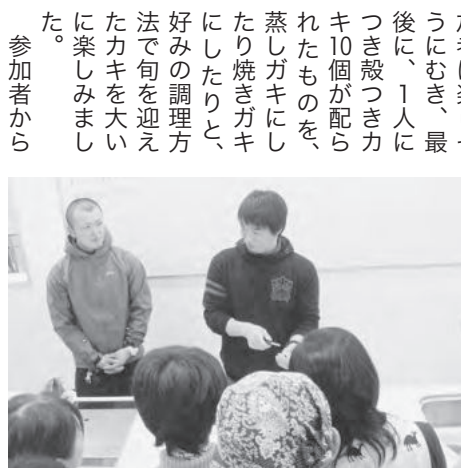


杉本講師の手際の良さはさすがでした

## カキ生産者が料理教室の講師に 〜兵庫県産カキの魅力伝えたい〜



1月22日(火)には「旬の魚を楽しむ教室 牡蠣」として、初めて漁業者を講師に迎え、カキの殻むきや家庭で手軽に出来る調理法の教室を開きました。JF赤穂市カキ生産者 成林 良一さん、大河 護さんが講師となり、集まった参加者23名に、まずカキ生産方法などの説明を行いました。説明は冗談も交えながら話され、参加者からは笑い声もこぼれていました。このあと、カキむき体験では講師に教わりながら、参加者は楽しそうにむき、最後に、1人につき殻つきカキ10個が配られたものを、蒸しガキにしたり焼きガキにしたりと、好みの調理方法で旬を迎えたカキを大いに楽しみました。



講師のカキ生産者 大河 護さん、成林 良一さん(写真左から)



チーズやマヨネーズ、ネギなどを載せた焼きガキ



酢ガキにもチャレンジしました

## 豊かな海へ……

### ～淡路西浦ため池かいぼり作業～

### 洲本農林水産振興事務所



ため池・里海交流保全

JF育波浦漁協（小溝政二組合長）とJF室津浦漁協（宮田良三組合長）が五斗長小原池田主の農業者とため池・里海交流をおこない、ため池の腐葉土を海に流す「かいぼり作業」を実施しました。これは、栄養が不足している海へ腐葉土を流して少しでも栄養を供給したい漁業者と、腐葉土や土砂が堆積しているため池の貯水量を確保し適正管理したい農業者が交流を図り、協働して取り組む活動です。

1月20日（日）、淡路市育波川流域の下川池で、両JFの漁業者や地元農業者など約70人が参加しました。この日はのり面の上部まで堆積した腐葉土を手作業でかきだして池底に落とし、ホースで水を流すとともに重機を用いて底樋から下流の川へ流しました。参加された漁業者、農業者からは「かいぼり作業」を継続していきたいという声がたくさん聞かれました。

淡路島内では、昨年10月に同市東浦地区の浦川水系一谷池でJF森・仮屋と地元農業者が協働してかいぼり作業を実施し、12月には同市ひがしうら文化館サンシャインホールで「ため池・里海交流フォーラム2012」を開催するなど活動が広がっています。「かいぼり作業」には多くの期待が寄せられており、今後さらなる活動の広がりへ期待が高まっています。



参加者の皆さんで記念撮影



かなり上まで泥が堆積していました



兵庫のりの試食に「美味しい」との声が……

## 兵庫のりについて学ぼう！ 播磨町立播磨小学校の児童が見学

### JF兵庫漁連のり共販部

1月22日（火）、播磨町立播磨小学校3年生の児童と先生ら約90名は、社会科の授業の一環としてJF兵庫漁連のり流通センター（加古郡播磨町）を訪れ、乾のり検査の見学と、ノリの生産工程などについて学びました。

2班に分かれた児童らは、乾のり検査場とDVDによる学習会場に入り、担当職員から説明を受けました。検査場では箕浦統括代理から検査方法や等級などについて詳しく説明がありました。児童からは「ノリを乾燥させる時間は？」や「ノ



様々な質問に答えた箕浦統括代理

リは何種類ありますか？」と様々な質問が飛び出していました。DVDを使った説明を担当する藤原主任は「実際にノリを焼いてみせ、乾ノリと色の違いを見せたり、試食を行いました。ここでも「ノリはいつから作られているのか？」、「兵庫以外の生産地はどこ？」といった沢山の質問が飛び出し、試食では「美味しい！」、「甘い」と喜んでくれました。約2時間の見学でしたが、兵庫のりについての理解が深まったようでした。



## “命を守る運動” 「海上安全講習会」を開催しました

JF・系統団体が各地で開催している“命を守る運動”海上安全講習会が2ヶ所で行われました。その内容は以下のとおりです。



シミュレーターでの漁船数は、昨年より増加



消耗部品を交換する参加者

シミュレーターでの漁船数は、昨年より増加  
消耗部品を交換する参加者  
シミュレーターでの漁船数は、昨年より増加  
消耗部品を交換する参加者

大型船シミュレーターを用いた動力性能の体験や、ライフジャケットのメンテナンスなどを行う「海上安全講習会」が1月25日（金）に独立行政法人海技教育機構 海技大学校（芦屋市）で行われ、兵庫県漁協青壮年部連合会（大角生馬会長）の会員や、淡路地区の船曳網漁業者ら約20人が参加しました。この取り組みは国土交通省神戸運輸監理部、JF兵庫漁連の主催で、ライフジャケットの着用推進と、膨張式ライフジャケットのメンテナンスの重要性の理解を深めるほか、特にイカナゴ漁期前のこの時期に漁業者に安全運航の意識を高めてもらうことを目的に、海技大学校の協力を得て開催されました。

神戸運輸監理部 筒井 宣利課長によるライフジャケットのメンテナンス実習では、参加者が膨張式ライフジャケットを着用し、膨らませる体験をしたのち、ポンベなどの消耗部品を交換しました。参加者の中には初めて膨らませた方もおり、メンテナンスと併せて貴重な体験が出来たようです。



から「小型漁船の海難防止に向けて「ルールの再確認」として海上交通安全法の内容について講演がありました。岩瀬教授は「大型船は、漁船の後方の網を引っ掛けることを警戒して、前を横切ることが多い。漁船側は警笛を鳴らすことで自分の思っている方向へ大型船を誘導することが出来る」と話され、参加者は耳を傾けていました。

## 大型船シミュレーター研修を実施！ 漁業者らが参加し、海技大学校で開催

## ライフジャケットのメンテナンス講習を実施！

命を守る運動「海上安全講習会」をJF津名で開催

JF津名で開催

1月30日（水）、日進丸（淡路市佐野）において、JF津名（中田 勝組合長）の船曳網漁業者を対象にライフジャケット着用推進とメンテナンス体験等の講習会を開催し、約40人が受講しました。



ライフジャケットの定期的なメンテナンスを！



膨張式ライフジャケットは落水した場合、完全に膨らむまで若干時間を要します

JF兵庫漁連・共水連兵庫県事務所・兵庫県内海漁船保険組合・（公財）ひょうご豊かな海づくり協会・（財）兵庫県水産振興基金の系統5団体では、開催の要望のあったJFと共に「海上安全講習会」をこれからも各地で開催していますので、開催を希望されるJFはJF兵庫漁連指導部（078-940-8013）までご連絡下さい。

## 豊かで美しい瀬戸内海の

## 今後の在り方について意見交換

## （社）瀬戸内海環境保全協会研修会が開催される

### （財）兵庫県水産振興基金



(写真提供：(社)瀬戸内海環境保全協会)

瀕死状態といわれた瀬戸内海の水質は、法律の規制により着実に改善されてきましたが、水産業界から資源の減少が依然として課題であると繰り返し指摘してきました。

環境大臣からの諮問に対し、中央環境審議会瀬戸内海部会は昨年10月30日に「瀬戸内海における今後の目指すべき将来像と環境保全・再生の在り方」を答申し、これによって、従来の水質改善のための規制を中心とした水環境行政は、生物多様性や水産資源の回復に向けて大きく転換しようとしています。

す。

このような中、(社)瀬戸内海環境保全協会は1月25日(金)に神戸市内で、瀬戸内海の環境保全と再生に向けた現在の環境サイドの動きを解説するとともに、豊かで美しい瀬戸内海を後世に引き継ぐための今後の在り方に関する研修会を開催しました。(プログラムは別掲のとおり)

まず、答申の取りまとめに中心的な役割を果たした広島大学 松田 治名誉教授は基調講演で「日本の水域で最も厳しい水質規制が行われた結果、大阪湾以外の瀬戸内海では環境基準がほぼ達成されたが、浅海域の埋立てによって藻場・干潟が失われ、漁獲量は1985年をピークに今はその半分しかない。豊かな海の喪失とは、生物多様性と水産資源の劣化である。今世紀になって多くの基本法が制定され、理念や方向性は明示されているが、実現のための取組みや施策は始まったばかり。国際的にも広がっている「里海」は、生物多様性の確保と水産資源の回復に向けた重要なアプローチの1つ」とされました。

続く、大阪大学大学院 西田 修三教授は、水環境の劣化原因の解明と再生のために、水質だけでなく、窒素・

### プログラム

- (1) 基調講演 「瀬戸内海を目指すべき将来像と環境保全・再生の進め方について」  
広島大学 名誉教授 松田 治  
(環境省中央環境審議会瀬戸内海部会企画専門委員会 委員長)
- (2) 講演 ① 「瀬戸内海における栄養塩の現状について—規制から管理の時代へ—」  
大阪大学大学院工学研究科 教授 西田 修三  
講演 ② 「海の幸を育む瀬戸内海」  
独立行政法人水産大学校 理事長 鷺尾 圭司
- (3) パネル討論  
・テーマ：瀬戸内海の豊かさを、次世代に引き継ぐために  
・コーディネーター：広島大学名誉教授 松田 治  
・パネリスト：大阪大学大学院教授 西田 修三  
水産大学校理事長 鷺尾 圭司  
兵庫県水大気課長 秋山 和裕

リンなどの物質の収支と循環の把握が必要との立場から「大阪湾の窒素・リンの収支と循環を推定した。栄養塩が健全に循環するためには、富栄養化によって損なわれた生態系を取り戻すことが不可欠である。豊かな生態系が実現するためには、①藻場、干潟、砂浜の保全・再生・創生を推進すること、②大きな汚濁発生源になっている湾奥部の底泥からの溶出(堆積有機物の分解)を浚渫や覆砂によって改善することが重要である。」と提起されました。

また、水産大学校 鷺尾 圭司理事長は「瀬戸内海の浄化が進み、貧栄養化

になってノリの色落ちやイカナゴの不漁など海が枯れてきた。海の栄養塩を管理することが豊かな生態系を育むことにつながる。水産業は海に流入してきた栄養塩を回収し、森川海の物質循環に寄与している。」と主張されました。

講演の後のパネル討論では、県水大気課 秋山 和裕課長から「窒素・リンの環境基準の下限値や、季節別基準の設定を検討するよう提案している」と紹介され、実現すれば下水道の管理運転などの進展が期待されます。

また「今後の目指すべき海の姿」については「藻場・干潟が失われている中、昔の水質に戻すべきというのは意味がない」、「昭和30年頃の昔の水質に戻すというなら海苔は作れなくなる」などの意見が出るなか、「各湾・灘ごとに望ましい海の像を考える必要がある」という認識で幕を閉じました。



(写真提供：(社)瀬戸内海環境保全協会)

# JF五色町が協力し電気漁船の実証実験

## (財)兵庫県水産振興基金

JF五色町(播磨孝次組合長)では昨年11月より電気モーターを搭載した漁船「鳥飼丸」の実証実験が行われており、消費電力や操作性についてデータを集めています。船外機タイプは既に実験を実施していますが、モーターが船内、スクリーンが外にあるドライブ船では全国初の取組みです。電動漁船を開発・製造する「アイティオー」(本社・愛媛県)と(社)海洋水産システム協会(東京都)が、水産庁の補助を受けた「電動漁船等地球環境保全型漁船の技術開発事業」の一環としてJF五色町に依頼されたものです。

1月16日(水)にはJF五色町、水産庁、アイティオー、(社)海洋水産システム協会などによる現地調査が行われました。実際に乗船した後の意見交換で、漁業者側から「クラッチを入れただけで動かないと扱いにくい」、「漁労設備を動かす動力についても研究して欲しい」といった意見が出され今後の対応などが話し合われました。

播磨組合長の操船で乗船し約20ノットの速さで走ったところ、エンジン船では聞こえないくらいシャフトの回転音がよく聞こえました。事前に

聞いて想像していたよりも静かな印象を受けました。

二酸化炭素を大幅に削減するために電動漁船の開発を目指しているこの事業ですが、燃油が高騰する昨今、漁業経費削減にも一役買うことが出来るのではないのでしょうか。実用化に至るまでの課題は多いようですが、将来、日本の海を電動漁船が操業している時代が来るのかもしれないと。



▶船内には大きなモーターがありました

### 【鳥飼丸データ】

全長約10メートル、幅約2メートル、重さ2.3トン、電力で100馬力を発生。リチウムイオンバッテリーを積み、専用充電器で10時間充電すると約2.5時間(10ノットの場合)航行できる。

## 平成25年度 兵庫県漁村子弟育英生募集

(財)兵庫県水産振興基金では平成25年度育英生を次のとおり募集します。

### 1 応募資格

県下の漁業協同組合又は別記団体に所属する「組合員」もしくは「職員」又は「その子弟」及び「遺族」であり、高校又は大学等に在学(入学予定)し、所属組合・団体長が育英生として適当と認めた者。ただし、日本学生支援機構等から奨学金を受けている者は、本基金の育英生になることが出来ません。

### 2 貸与金の額

学 別	貸与月額	
大 学 生	25,000円	
高 校 生	寄 宿 生	25,000円
	通 学 生	20,000円

### 3 申込方法

所属組合・団体を通じて「漁村子弟育英生申込票」、「貸与申込書及び添付書類」を提出して下さい。

提出 期日	漁村子弟育英生申込書	平成25年3月29日(金)
	貸与申込書及び添付書類	平成25年4月30日(火)

### 4 育英生の採用決定

本基金選考基準により審査のうえ採否を決定し、6月上旬頃に所属組合・団体を通じて連絡します。

### 5 育英資金の貸与方法

所属組合を通じて、前期分・後期分をまとめてそれぞれ6月・12月に貸与します。(初年度前期分のみ7月に貸与)

### 6 貸与金の返還方法

- ① 貸与金は無利息とし、貸与期間終了(卒業)後、1年間据え置き2年目から返還していただきます。
- ② 返還期間は、貸与金額に応じて返還開始から5~10年間です。

### 7 その他

- ① 詳細については、組合・団体担当者を通じて、当基金までお気軽にお問い合わせ下さい。
- ② 漁船海難遺児に対しては、本基金の事業とは別に、兵庫県漁業協同組合連合会が事務局となって取り扱っている有利な育英制度がありますのでご留意下さい。
- ③ 「しおり」を各組合・団体宛に送付していますので、併せてご覧下さい。

### ※ 別記団体

兵庫県漁業協同組合連合会 兵庫県信用漁業協同組合連合会  
 兵庫県漁業共済組合 共水連兵庫県事務所  
 兵庫県漁業信用基金協会 兵庫県内海漁船保険組合  
 但馬漁船保険組合 (公財)ひょうご豊かな海づくり協会  
 (財)兵庫県水産振興基金 (社)播磨漁友会  
 (社)淡路水交会 由良町漁業協同組合連合会

# 瀬戸内海フォトコンテスト

# 作品募集

(社)瀬戸内海環境保全協会では、瀬戸内海環境保全特別措置法40周年記念事業として「瀬戸内海フォトコンテスト」を開催します。

豊かで美しい「里海」としての再生を目指し、瀬戸内海、豊かで美しい里海とそれを育む流域、②瀬戸内海の生業、③瀬戸内海の風景の3つのテーマで募集しています。最優秀賞には表彰ならびに副賞10万円が贈られるなど、入選作品30点を選定します。

皆様、奮って応募ください。

作品規格等は(社)瀬戸内海環境保全協会のホームページ(<http://www.seto.or.jp/setokyo/>)か、電話(078)241-7720まで

## 大輪田塾だより

### 「漁場整備」・「川と砂」と

### 第16回山田記念賞

29日(火)に行われた大輪田塾1月講座は、「漁場整備について」とし、泉水産課中桐栄主査、「川と砂について」として、(株)建設技術研究所佐々木良作技師長の講義がありました。

中桐講師は、県が行っている日本海・瀬戸内海の漁場整備について詳しく説明をされました。質疑では、塾生からは天然石や間伐材を使った魚礁についての質問があり、最後に「今後は漁港に稚魚育成の機能を持たせるなど有効利用することも検討されている」と締めくくられました。

佐々木講師は兵庫県職員OBで、長年、河川行政に携わってこられました。講義では、海への河川からの砂の流入量が減っていることを踏まえた上で、河川行政としての治水の考え方や歴史、ダム の現状などに触れられ、「河川管理者は海 の環境についての認識は少ない。今後はデータを示すなどして因果関係を明らかにし、お互いが砂について意識を持つことが大事」とまとめられました。



中桐講師による漁場整備についての講義

また、2月6日(水)に開催された第16回山田記念賞表彰式・祝賀会において当塾8期生が紹介され、代表して赤松 克司さん(JF但馬)が「学ぶ良い機会を得たことに感謝し、これからも頑張っていきたい」と決意表明し、会場は大きな拍手に包まれました。



赤松さんは力強く抱負を語りました



「昔は砂が流れやすい環境だった」と佐々木講師

## 400人の園児が集い 「よいしょ！」の掛け声響く 園児を招待し餅つき大会を開催

J A丹波ひかみは昨年12月7日（金）、市内の17保育園・認定こども園の4歳児、約400人を招待し「平成24年度 園児招待もちつき大会」を行いました。このもちつき大会は、同J Aが食農教育活動の一環として、毎年この時期に実施しているものです。

参加した園児は、J A職員から朝ごはんを食べることの大切さ、お米のことなどについての話を聞いた後、園ごとに分かれて臼と杵を使った昔からの餅つきに挑戦しました。

杵でつく度に、餅米が餅になっていく様子を不思議そうに見つめていた園児たちは、早く自分達でつくたくて仕方ない様子でした。J A職員から杵を渡されると、まわりの園児たちの「よいしょ！よいしょ！」と元気な声援を受け、順番に並んでJ A職員と一緒につきました。

できあがった餅は、きな粉をまぶしてその場で食べました。「とってもおいしい！」「3個も食べた」などと園児たちは笑みを浮かべて、つくたての餅の味を楽しみました。

また、3歳児以下のクラス用にお土産の餅もちつき、園児らは1時間半の間におよそ100キロのもちをつきあげました。J A丹波ひかみでは、将来を担う子どもたちが、餅つきを通じて食や農業への関心を持つよう、今後もこの餅つき大会を継続していきたいと考えています。



◀駐車場いっぱいに広がって開催した餅つき大会



▶J A職員と一緒に餅つきを楽しむ園児

## 関西地連 第2回福祉事業 交流会を実施しました

姫路医療生活協同組合では、10月18日（木）、日本生協連関西地連の皆様にお越しいただき、「第2回福祉事業施設交流会」を実施。購買生協の福祉事業責任者の方々8単協12名と事務局5名あわせて計17名が参加しました。

まず、当生協の福祉介護センターや医療機関を4コースに分かれて見学いただきました。当生協の福祉介護センターは、「小規模多機能ホームとデイサービス」、「小規模多機能ホームと訪問看護と訪問介護」、「居宅介護支援事業所と訪問看護と訪問介護と訪問入浴」など、ひとつの建物の中に複数の事業所が併設されていることが特徴です。

見学の後、「姫路医療生協の事業・経営戦略～姫路医療生協がめざす地域包括ケアの推進～」をテーマに意見交換をおこないました。

参加者からは、「地域包括支援センターと居宅との連携がきめ細やかに関わり、高齢者が安心して暮らせる取り組みが充実していると実感しました」「理念のとおり、利用者・職員の笑顔が印象に残る施設だと感じました」という感想をいただきました。これからも、組合員による健康づくり・介護予防・助け合い活動と事業活動をリンクさせた地域包括ケアを推進してまいります。





# 旬に想う

写真と文  
遊方子

## 唐辛子とは

◆カレーを捨てるのにルウが無いため買いに行った。スーパーの棚には随分と多くのメーカーの品が並んでいる。辛さが勝負と強調したもののや、辛さを控えて甘くしたのもあり、色づけにはターメリックやサフラン、辛味づけに唐辛子・胡椒・ジンジャー・マスタード、香りはコリアンダーなど二十種ほどの香辛料が混ぜてある。風味に特徴を出そうと、各社が混合比率を秘伝としている。鳥取県でカレールウの消費が多いという。理由として夫婦共稼ぎが多く、作り置きが利くカレーを重宝されているらしい。付け合わせのラッキョウの産地だ。

◆唐辛子はナス科に属し辛味種と甘味種がある。甘い獅子唐辛子は別名、ピーマンとして野菜的に扱われる。辛みの強いのは地方独特の種が多く「鷹の爪・八房・伏見辛」などがあり、辛みの成分カプサイシンは無臭で、猛毒ペラゾンナに近縁のものだから、皮膚の敏感なところには炎症を引き起こす作用がある。香川県塩飽諸島の鷹の爪の一種「香川本鷹」は、豊臣秀吉の朝鮮出兵の際、塩飽水軍として参加した恩賞に、拝領したという伝承の辛みだという。青森に伝わる「清水森ナンバ」も辛さを誇り、北海道「札幌大長なんば」は辛みの強いカイエンヌ種を北海道気候に順化させたそうだ。辛さで人を挑発している。

◆唐辛子の原産地は、今も論議されているが、一説に南米のボリビア中部地方が発祥地だという。メキシコの遺跡から紀元前七千年頃に唐辛子を利用したらしい遺物が出土し、栽培歴の古さが判る。獣肉の臭み消しや保存材料として使われたようだ。コロンブスの米大陸発見により世界中へと広まり、日本には十六世紀半ばに南蛮船で渡来したため、ナンバンの名称が使われる。当時は足袋の中に入れ保温に使った。香辛料として一味唐辛子と七味唐辛子がある。七味には胡麻・山椒・麻の実・ケシの実・青海苔・陳皮(蜜柑の皮)が混ぜられている。

◆辛さには奇妙な快感がある。中国の辣油(ラー油)・韓国のキムチなど、赤い色と辛みが味覚を刺激して食欲をそそる。ご飯をお代わりしたくなる。ハバネーロは、メキシコ南部のユカタンで育つ胡桃(クルミ)に似た形の唐辛子で、鷹の爪よりも数十倍の激辛でマヤの人に愛された品種だそう。インドでは粒状に練った唐辛子を旅行時に携帯し、テキサスでは小型の唐辛子を持ち歩くとか。或る学者は唐辛子にニコチンやコカイン同様の習慣性ありという。その正否は不明ながら、成分のカプサイシン溶液を皮膚に塗ると、始めは痛みと熱を感じて、やがて痛みが緩和する。抗ガン性の有無など、謎も多く解明が待たれる。

### 税務署からのお知らせ

確定申告

ネットなら便利!

確定申告

国税庁ホームページで申告書が作成できます。

e-Taxで送信

印刷して送付

0570-01-5901 国税庁

#### ● 贈与税の申告がe-Taxでより便利に!

平成24年分の申告から国税庁ホームページの「確定申告書等作成コーナー」等で作成した贈与税の申告書も、e-Taxを利用して提出(送信)できます。

#### ● 平成26年1月から記帳・帳簿等の保存制度の対象者が拡大!

事業所得等を有する白色申告の方に対する現行の記帳・帳簿等の保存制度について、平成26年1月から対象となる方が拡大されます。

#### ● 詳しくは

税に関する情報は  
 国税庁ホームページ ([www.nta.go.jp](http://www.nta.go.jp))  
 e-Taxに関する情報は  
 e-Taxホームページ ([www.e-tax.nta.go.jp](http://www.e-tax.nta.go.jp))

をご覧ください。